

前略

今日、群像の新年号がまづ、新華送の記しと  
相見。油達など、文章を思ひました。今用の遠慮  
がなく、輕々は下さるこもなく、新しく、ううう  
教わる。されど、うなづかねうらと同感ござました。  
先月の、終章の記しと、同様の印象が、感心しつつ  
好感ももて、併見しました。私がうぶ禮をう  
筋子など、どうか何か、何かありがんへといふ言葉が  
あるぞ、ひとふりあ、禮を申し述べる次第です。

勿